

「ただいま」を・・・会社も家族も待っています

事故ゼロは、私達の誇りです

ハンドルを握る手には 人の命がかかっている！

安全第一 スピード 車間距離 スマホ見ない 前を見る

《暗くなってからの、歩行者に注意》 帯広警察署
約85%が「夜間」に発生しています

《 事故直前のスピードが高いほど、死亡事故率は高くなります》

○ 市街地では・・・30km/h

○ 郊外部では・・・40km/h

・・・を超えると、死亡事故率が上昇します！

運送業の**労災**、とにかく多い、「**転倒・転落・挟まれ**」

鋼材、資材の積み降し作業中の、手・指・足のはさまれ事故に注意しましょう

見直そう 「慣れ」の運転・「慣れ」の作業

「**命の危機を感じた**」

トラックから台車が**落下**

後ろを走る車に**直撃**

◇「荷締め」を確実にやり、「何度も」確認しましょう◇

◇「近くへ移動するだけだから、この位はいいだろう」、これは、絶対に危険！◇

2022/2/26(土)

22日の夜、埼玉県の東北道を走っていた車のドライブレコーダーが、衝撃の瞬間を捉えた。撮影者は、片道3車線の真ん中を、車間距離を十分とりながらの走行していた。すると、前を走るトラックから何かが落下し、撮影者の車に直撃した。被害にあった撮影者は、ぶつかったときの心境について「命の危機は感じました。よけきれなかったですね。暗かったもので、気づくのも遅くて、あっと思った瞬間にはぶつかっていました」と明かした。車のフロント部分は大きく破損。それもそのはず、ぶつかったのは、長さ1メートル以上の木製の台車だった。トラックは、事故に気づいた様子もなくそのまま走り去っていった。

中央車線を走行の車が
左車線を走行の路線バスの前を遮る形で
左折しようとした

路線バスが急停止、乗客2人軽傷

2022/2/26(土) 12:41

25日午後6時20分ごろ、神奈川県の信号交差点で、路線バスが乗用車を避けようと急停止し、30代と70代の女性客2人が頭や首に軽傷を負った。警察によると、路線バスが左車線を走行していたところ、中央車線を走っていた乗用車がバスの前方を遮る形で左折しようとしたため、急停止したとみられる。

市道を走行中、対向車線を越えて

開店前の家具雑貨店に乗用車、突っ込む

運転の男性と同乗の女性、けが

2022/2/24(木) 20:33

24日午前10時10分ごろ、岡山県の家具雑貨店に、男性(62)が運転する乗用車が突っ込み、入り口付近のガラス窓を割って止まった。男性が胸に打撲を負い、同乗の女性(72)も軽傷もよう。店は開店前で客がおらず、従業員にけがはなかった。警察によると、男性は店舗前の市道を走行中、対向車線を越えて突っ込んだという。男性がハンドル操作を誤ったとみて調べている。